

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援センターめだかの学校			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 7 日		～	令和 7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	105	(回答者数)	92
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 3 日		～	令和 7 年 2 月 7 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	25
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援	親子活動を取り入れ、実践の中で子どもとの関わり方を考える場を提供しています。また、保護者同士が集い、さまざまなテーマで学習したり、お互いの子育てについて語り合ったりする場を設けています。	保護者や保護者以外の家族が参加しやすい場を提供できるように努めます。
2	活動内容の充実	家庭内でも取り組める遊びを紹介し、日常生活での関わりに生かせるようにしています。また、スーパーや公園、公共交通機関などの地域資源を利用して、様々な経験ができるようにしています。	子どもが遊べるおもちゃを増やし、子どもの遊びの時間を充実させます。
3	虐待・事故防止の取組	些細な事柄でもヒヤリハット事例があれば積極的に事業所内で情報共有し、再発防止に努めています。日々の記録に身体拘束の有無について記載し、日々意識できるように取組んでいます。	これまでに起こったヒヤリハット事例を集約し、安全計画に反映させます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報公開	ホームページに記載されている情報が少なく、整理されていないため、利用者や利用を検討する人にとって理解しにくい状態となっています。	ホームページの内容を改編し、分かりやすく情報を公開できるように努めます。
2	地域とのつながり	地域と連携した取組が少なく、閉鎖的な環境になっています。	近くにある地域との施設と一緒に行事へ参加することや活動に地域の人も参加してもらうことで、地域のつながりをつくっていきます。
3	外遊びできる環境がない	園庭がないため、思いっきり走ったり、砂場で遊んだりすることができません。	近くにある施設との連携を深め、外遊びできる場を共有し、環境整備に努めます。